

## 第11回日展

### 第3科（彫刻） 特選授賞理由

題名

作者名

はなびら

井上 智

授賞理由

桐の大木を一木彫として仕上げている。人体の動きを抑制し、単純で有機的なフォルムを彫り込んでいる。なおかつ細部に極めてデリケートな描写で生命力を与えた独特な世界を醸し出すことに成功した。

題名

作者名

残闕

竹内晋平

授賞理由

構造的を持った存在感のある作品である。手足の切り方や、下部の寸法を変えてバランスを崩すなど、量塊の関係を探りながら、立つかたちを成り立たせた力作である。

テディベア

酒井 華

授賞理由

愛着のあるぬいぐるみに抱かれ、心地よく眠る少女の姿に、新鮮な発想を感じる。色や質感の表現にテラコッタの技法を生かしつつ、大らかなフォルムと人物の細部の表現に造形の豊かさが感じられる優作である。

彼岸花

田原迫 華

授賞理由

正面性の強い作品として仕上げながらも、微妙に左右に体重移動が施されている。また、石膏の巧みな取り扱いに長けていて微妙な陰影により深い精神性を感じさせる優作である。

ベルベットの月

志村ひろこ

授賞理由

踊るという動きの一瞬を捉えた軽やかなポーズである。視覚的に「立つ」という彫刻の基本をしっかりとふまえつつコスチュームの広がりや動勢を表現している。堅実な作品で全体に爽やかな雰囲気を感じられる。

海へ

宮地淑江

授賞理由

人体とコスチュームの一体感があり、力みなく立つ女性の表現が巧みで心地よい。題名から海の方を向く服の裾をつかむ空間には風を感じ、服の色は海や空をも感じられて、静かに語る優作である。